

令和8年度 村岡中学校だより6

令和8年9月1日発行

自ら学び ふるさとを誇り 笑顔あふれる生徒の育成 ～自他を大切に志高く未来を切り拓く～

2学期が始まりました。今月18日(金)には本校の体育祭を予定しています。本格的な練習は来週からですが、この暑さの中、授業や部活などを行います。生徒は水分補給等こまめに対応していますが、体力は一人一人異なり、体調も日によって変わるものですので、各個人が自分の体としっかり対話して、早め早めの対応をしてください。

昨年まで体育祭練習で、帽子を着用している人が少ないように感じました。新しく買う必要はないですが、適当な帽子が無いのであれば購入することも考えて頂ければと思います。運動をするので“むぎわら帽子”や“ハット”というものでなく、「キャップ」と呼ばれるタイプ(「野球帽」といった方がわかりやすいかもしれません)であれば、よほどのデザインでない限り結構です。また、お茶、スポーツドリンク等も、できるだけ多く持たせていただくよう重ねてお願いいたします。

まずはこの体育祭に全力で取り組み、9月のスタートダッシュを決め、その後の2学期を充実したものにして欲しいと願っています。1年生は中学校生活にも慣れて集中できるようになってきます。2年生は部活動の中心となり、また、学校生活においてもいろんなことを引き継いでいくことになります。3年生は何ととっても進路決定において大変重要な学期となります。中学校の大きな使命の一つは、卒業後の進路決定であると思っています。そこに向かって、それぞれが今をどのように過ごすか、しっかり考えて行動しましょう。

<香美町ESC事業の参加> 8月4日(火)

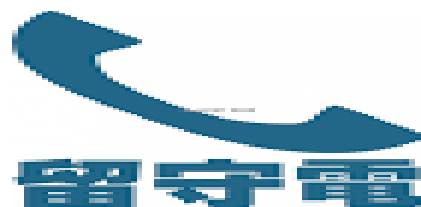
恒例の「香美町ESC(English Summer Camp)」が、香美町立ジオパークと海の文化館で、8月4日(火)に開催されました。外国人講師と英会話だけで1日過ごし、英語を使ってコミュニケーションする楽しさ、伝わる喜びを体感することを目的として、5年前から行われています。今年は、村岡中からは3年生5名と2年生5名の計10名が参加しました。当日は、終日英語で話しながら、ちくわ作り体験や、香住一中の生徒との交流もでき、有意義な会になったようです。



お知らせ <村岡中学校 留守番電話の導入> 9月1日(火)～

この度、香美町立学校では、留守番電話機能が導入され、村岡中学校は、本日(9月1日)から開始し、留守応答対応時間は下記のとおりです。保護者や地域の皆様には、学校における「働き方改革」の趣旨等をご理解いただき、学校への連絡は、対応可能な時間中に行っていただきますよう、ご理解、ご協力をお願いします。

- ①登校日(授業日) 18時30分から翌朝7時30分
- ②長期休業日の平日 16時30分から翌朝8時00分
- ③土日祝日等休業日 終日



< 夏休み中の活躍 >

7月25日(土)～29(水) 県中総体

男子バレー 1回戦 2-0 三原中
2回戦 0-2 平岡中



陸上 ・低学年女子4×100mリレー予選

(坂本琉稀、坂本弥天、伊藤綾美、西村真衣) 1分0秒5

・1年女子800m予選 藤村春那 2分41秒8

卓球 ・男子個人戦 伊藤 翼 1回戦: 3-0 2回戦: 2-3
上治 鈴 1回戦: 3-2 2回戦: 0-3

26日(日) 吹奏楽コンクール但馬地区大会 銀賞

30日(木) 村岡ナイター陸上(本校会場)

1年生4名、2年生1名、3年生2名が参加

8月4日(火) カデット但馬卓球大会

2年女子シングルス 坂本琉稀、田野鈴歩、中村美月: 以上 ベスト16(県大会出場)

1年女子シングルス 伊藤綾美: 優勝(県大会出場)、東結絆: 準優勝(県大会出場)

2年男子シングルス 上治鈴: 準優勝(県大会出場) 1年男子シングルス 伊澤礎良: 第3位(県大会出場)

女子ダブルス 坂本・田野組: 第3位(県大会出場)、中村・伊藤組: 第3位(県大会出場)

22日(土) バスケサマーカップ 1回戦 36-43 養父中

29日(土)・30日(日) カデット県卓球大会

2年女子シングルス 坂本琉稀 1回戦 3-1、2回戦 1-3、田野鈴歩 1回戦 0-3、中村美月 1回戦 0-3

1年女子シングルス 伊藤綾美 2回戦 3-0、3回戦 3-1、4回戦 0-3、東結絆 2回戦 0-3

2年男子シングルス 上治 鈴 2回戦 3-2、3回戦 3-0、4回戦 1-3

1年男子シングルス 伊澤礎良 1回戦 3-0、2回戦 0-3

女子ダブルス 坂本・田野組 1回戦 1-3、中村・伊藤組 1回戦 2-3

☆文部科学大臣メッセージの紹介

保護者や学校関係者等のみなさまへ

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあります。そして、特に長期休業明けの前後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。

子供たちの自殺を未然に防ぐには、保護者や学校関係者をはじめ、子供たちと身近に接しているみなさまに、子供たちの態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただくことが、大変重要だと考えております。

- ・これまで関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・物事に集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- ・友人との交際をやめて、引きこもりがちになる

といったようなサインが見られたら、いつも以上に子供に寄り添い、注意深く見守って、子供の思いを受け止めていただきたく存じます。

一人一人の働きかけが、悩みや不安を和らげるとともに、日頃の温かいコミュニケーションによって、何か困ったときに相談できる子供たちとの信頼関係づくりにつながります。各種相談窓口もありますので、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

文部科学大臣としても、子供たちが安心して学ぶことができるよう、皆様と共に、取り組んでまいります。

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



令和8年8月 文部科学大臣 松本 洋平

